

まつもとし たぶんかきょうせい きーぱーそん 松本市多文化共生キーパーソン

1 どの国で生まれた人も、だれもが住んでい
るところで安心して生活し、がんばれるよ
うに、市役所や外国人などをつなぐ人です。



2 まつもとしたぶんかきょうせいきーぱーそん
「松本市多文化共生キーパーソン」
になるためのしくみがあります。



3 しやくしょ きーぱーそん きーぱーそん す
市役所、キーパーソンとキーパーソン、住
んでいるところの人たちとつながるネットワ
ークを広げながら、いっしょに生きる社会になる
ことを目指します。



コラム 「やさしい日本語」で話しかけてみよう

わたしはタイから来ました。よく、「外国人＝英語を
話す人」と思う人がいます。だから、初めて会った
ときに英語で話しかけられると、少しびっくりしま
す。

でも、外国から来た人は、みんな英語を話さな
い人もいます。日本にいる外国人の人も、いろい
ろな国から来ています。話す言葉も文化も違います。
日本語がとて上手な人もいれば、そうでない人も
います。

大切なのは、見た目や国で相手を決めないこと
です。一人ひとりを大事に思う気持ちを持ちましょ
う。

どの言葉で話そうか迷ったときは、まず「やさし
い日本語」で話しかけてみてください。「どんな人
かな?」と思って話し始めると、あたたかい会話に
なりやすく、みんなが気持ちよく過ごせます。

Q 「やさしい日本語」とは?

A 難しい言葉を言い換えるなど、相手のことを考
えた分かりやすい日本語のこと

- ✓ 文はわかりやすく、短く
- ✓ あいまいなことは使わない

例：全館禁煙となっていますので、お煙草はご遠慮ください。
→ (例) ここでたばこを吸ってはいけません。

まつもとしたぶんかきょうせいぐらざ がいこくじん そうだんまどぐち
松本市多文化共生プラザ (外国人なんでも相談窓口)

いろいろなことばで、相談やインフォメーション、
イベントをやっています。

📍 えむういんぐ かい まつもとしちゅうおう
M ウイング3階 (松本市中央 1-18-1)

☎ 0263-39-1106

🕒 あいている時間・
詳しいことはホームページへ!



お問い合わせ先

〒390-0811 松本市中央1丁目18番1号 M ウイング3階

☎ 0263-39-1105 📧 tabunka@city.matsumoto.lg.jp



第4次 松本市 多文化共生 推進プラン

がいようばん
[概要版]
まとめ

令和8年度
令和12年度

ぶらんぼんべん

プラン本編



「松本市多文化共生推進プラン」とは？

まつもと市多文化共生推進プランは、日本人も外国人も、みんなが住むところのひとりとして安心して暮らせるようにするためのプランです。

松本市では令和8年に第4次プランをつくり、みんなが暮らしやすいように進めています。

第4次松本市多文化共生推進プラン

基本理念

みんなで創る多文化共生都市・松本

～ことば・文化・感じ方の違いを超えて輝きよくなるまち～

松本市には、生まれた国や文化、話す言葉が違う人たちが住んでいます。

ここでは、そういう人たちを「みんな」と呼びます。

日本人も外国人も、お互いのちがいを認め、大切なことを分かち合います。

みんなで力を合わせて、いろいろな人がいることが力になるまちをつくるのが、私たちのめざす姿です。

みんながやること

市民

- 地域づくりのまんなかになる人
- お互いの文化や違いを大切に、わかり合いながら、一緒に暮らしていこうという気持ちを高めます。
- 松本市の仲間として、まちの活動に自分から参加します。

会社など

- 外国人がいる会社は、そのルールを守ります。
- 日本語や生活のルールのサポートを、市や団体と一緒にやります。
- 地域のイベントを手伝うなど、いろいろな文化の人が一緒に暮らしやすいまちをつくることに力をあわせて。

地域

- 地区や町会、会社、学校などは、日本人に外国人といっしょになかよく暮らすことを伝え、外国人に生活ルールを知らせ、いっしょにがんばれる場を作ることが求められます。
- 日本人と外国人がお互いに仲良くなり、地域のつながりを作ります。

市役所など

- 「外国人となかよく暮らす地域づくり」を進めるためのチームをつくりま。
- 市民・地域・会社・長野県などと力をあわせて。
- 他のまちのうまくいっているやり方を生かします。

ゴールとプログラム

つなげる
たのしむ

「みんな」がちがっても、いっしょにやるのが楽しいと思えるポジティブマインドをつくる

だいじなこと

- 多文化共生キーパーソンががんばる
- 外国人のひとと地域活動をいっしょにやる

● みんなでなかよくする

うけいれる
みとめあう

市役所、介護、病院、会社などいろいろなところで「みんな」ががんばる、言葉も違う国もいろいろな社会をつくる

だいじなこと

- やさしい日本語を用いたコミュニケーションのサポート（やさしい日本語をつかう、ひろめる）

- 市役所などのサービスをよくする
- 相談のサービスをよくする（多文化共生プラザをつかいやすくする・アウトリーチ）
- 地震や大雨のときのサポートをよくする
- 病院へのアクセスをよくする
- 生活のための場所の準備と、仕事をさがすために知りたいことをおしらせ

まなぶ
そだつ

どの子どもことば・文化・感じ方の違いがわかり、できることが増えるチャンスをつくること、外国にルーツを持つみんなが日本語を学べる場所をつくること

だいじなこと

- こどもを育て教える場所をふやす
- いろいろな国の文化があることについて早くおしえる
- 子どものいるところをつくる
- 日本語を学ぶところをつくる

かわる
ひろがる

「みんな」が「仲間」として認め合い、互いに力を合わせてパワーを生み出すきもちをつくる

だいじなこと

- いろいろな国のひとといっしょに生きていくためのきもちをつくる

だいじなこと

- 小学校や中学校といっしょにいろいろな国のひととともに生きていくためのきもちをつくる



くわしいことは松本市のホームページでお知らせしています。

